

## 近江八幡の町並み

読売新聞大阪本社の発刊 50 周年記念事業に「遊歩百選」があり、キーワードは「健康」「環境」「観光」であり、近江八幡の町並みもその一つに選定された。江戸時代は近江商人の中核をなす八幡商人が活躍し、



今でも古い商家や町並みには当時の面影が残っている。八幡山が見える新町通りは、自然のなかに歴史を感じさせる。



重要文化財の旧西川邸や歴史民俗資料館を見学して、すこし歩くと「国の重要文化的景観第1号」と書かれた八幡堀入口の案内がある。近江八幡の町を築いた豊臣秀吉の甥の秀次は、琵琶湖を往来する荷船をすべて八幡に寄港させるため八幡堀を設けたという。

八幡堀は写真のよう

に昭和 40 年代後半と比べて、親水空間として整備されてきた。現在は近江八幡の代表的な観光スポ



ットとなり、映画やテレビ時代劇の撮影場所として隠れた名所になっている。

古い商家や白壁の土蔵とともに、八幡堀は「遊歩百選」にふさわしい貴重な親水空間と言えよう。

(2009年 8月 24日 記)